

## 令和7年度 学校評価

### 【教育の基本方針】(第2次尼崎市教育振興基本計画)

- 1 個の尊厳や人権の尊重
- 2 未来志向の教育
- 3 家庭・地域社会との連携

[各校の重点取組について]

(1)「よりよい社会」の創り手となるために必要な「確かな学力」の育成(2)「生きる力」につながる多様な教育課題への取組

(3)「社会に開かれた教育課程」の実現と地域とともにある「開かれた学校づくり」(4)教職員にとって魅力ある職場づくり

(5)学校施設建て替えにむけての準備におけるこれまでの教育活動検討、見直し共通理解

学校評価の観点	評価Ⅰ(教職員)	評価Ⅱ(校長)
<b>1 学ぶ力と健やかな体の育成</b> (1) 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得及び、思考力、判断力、表現力を育むとともに、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による確かな学力を育成する。 (2) 多様な視点や価値観で物事を見つめる実体験を大切にし、課題解決能力を高める学習を充実を図る。 (3) 運動に親しむ習慣づくりを促進し、運動能力向上に努めるとともに、様々な健康課題を踏まえた健康教育を推進する。 (4) 給食の活用等による発達段階に応じた食育を推進するとともに、家庭や地域への理解啓発を図る。	3.3	3
<b>2 多様性と包摂性のある教育の推進</b> (1) 支援を必要とする子ども一人ひとりへの多様な教育ニーズに対応するとともに、学校外のグラデーションある学びの場や他機関等との連携を推進する。 (2) インクルーシブ教育の推進と合理的配慮の提供に向けた体制の整備による切れ目のない支援の充実を図る。 (3) 共生社会の実現に向け、違いを認め合い、多様な文化的背景をもつ人々と豊かに共生する心、共に生きようとする意欲や態度を育む。	3.4	3
<b>3 豊かな心の育成といじめ防止の取組</b> (1) 人権に関する知的理解と人権感覚の涵養を基盤に、自他の人権を守り、人権課題を解決しようとする実践的行動力を育成する。 (2) 命を大切にす心や思いやりの心、規範意識等の醸成に向け「道徳教育」や「心の教育」やその充実を図るとともに、様々な体験活動を通して豊かな人間性と社会性を培う。 (3) 一人ひとりの違いを認め合う仲間づくりを推進し、道徳科や特別活動、体験学習等を通じていじめの未然防止に努めるとともに、早期発見、早期対応に取り組む。 (4) 尼崎市の歴史や伝統・文化への理解を深めるとともに地域への愛着等、児童生徒の感性を高め、豊かな情操を養う。	3.4	4
<b>4 教育環境の整備と教員の育成・勤務環境の整備</b> (1) ICTを活用した更なる多様な学びを実現を目指して、ICTを活用した学習のデジタル化を積極的かつ効果的に推進し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。 (2) 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進するとともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導力の向上を図る。 (3) 社会的な良識と人権感覚、高いコンプライアンス意識を持ち、子どもや保護者、地域社会から信頼される教員の育成を図る。 (4) 教員の働き方改革を推進するとともに、風通しの良い職場環境づくりを進め、働きがいのある学校園づくりを進める。	3.4	3
<b>5 家庭地域社会一体となった教育の充実</b> (1) コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的推進し、「地域とともにある学校づくり」の実現に向けて取り組む。 (2) 防災教育の取組を促進し、危機管理能力の向上を図る。 (3) 安全教育の取組を促進し、登下校及び学校園内の安全確保を図る。	3.3	4
<b>教育目標</b> (1) 教育目標の達成に向けた充実した教育活動の展開 (2) 教育目標の具現化と指導の充実	3.3	3
<b>研究テーマ</b> (1) 研究テーマの達成に向けた充実した教育活動の展開 (2) 研究テーマの具現化と指導の充実	3.3	4